

中部教育事務所だより

発行所 群馬県教育委員会事務局
中部教育事務所
発行人 酒井 暁彦
発行日 令和5年6月20日
〒371-0051 前橋市上細井町2142-1
TEL (027) 232-6511



「寄り道」で得られるもの

中部教育事務所長 酒井 暁彦

1学期、日々の授業や遠足・林間学校などを通して、季節ごとの空の色や木々・花々の移ろい、鳥のさえずり、風の匂い、頂上から見ることができる壮大な景色などを五感で感じることができる活動を取り入れている学校園が多いかと思います。

昨今、人工知能の急速な発展により、生成型AIといった言葉が頻繁に使われるようになってきました。こうした技術が磨かれることによって、私たちの生活はとても便利になり、効率的に仕事ができることは否めませんし、これからの学校教育の中でも、ますます取り入れていく必要性が高まっていくのだと思います。しかしながら急激なICT化により、失ってしまうものもあることを忘れてはならないでしょう。便利さを追求すれば必ず失うものがあるのです。

例えば、車のナビゲーションシステム（カーナビ）で考えてみましょう。カーナビに住所や電話番号を入れると簡単に目的地まで誘導してくれます。最短ルートを通るので時間が有効に使えます。急ぎの仕事があれば当然活用した方がいいでしょうが、少し余裕のある旅行に行く場合はどうでしょうか。昔だったら、走っていて、現在位置や方角がわからなくなったら、車を止めて地図で確認したり、地元の方に教えてもらったりしていました。そうすることで、その町への親しみも深まるし、風景を楽しむことができます。道に迷ったことで、想定してなかった素敵な景色や場所に出会うこともあります。忙しい毎日を送っている私たちも、たまには手持ちの地図を見ては気の向くままに「寄り道」する余裕がほしいものです。TV番組で気ままにアナログなバス旅が流行っているのも、現代人が無意識でも非効率を求めているからかもしれません。

働き方改革の観点から言えば、様々な業務をICT化して効率的な働き方をしていく必要があります。その生み出した時間を子供たちとの触れ合いや教材研究に使うことができます。しかしだからといって、私たちは、学びの現場において子供たちに効率だけを教えるわけではないはずで、すぐに答えを教えるのではなく、子供たち一人一人の意見を比べて答えを練り上げていったり、一つの課題の原因を探って様々な解決方法を見付けたり、みんなで力をあわせて行事を成功させたりする活動など、ゆっくり時間をかけた教育活動を大切にしています。私たちは、少し「寄り道」する方が、子供たちの学びが多いことを知っているからです。

本来教育は、子供たちの内側から出てくるものを育てていく過程を大切にしなければなりません。それには時間がかかります。ときに効率的ではないかもしれませんが、今の世の中の主流である効率を子供たちに求めすぎると、大人側からの外発的なものになりやすいのではないかと危惧しています。今、私たちはこれからの変化の激しい社会に飛び出していく子供たちの成長を促すためにも、効率と非効率のバランスを意識していく必要があると思います。少し不便でも、本当に大事なものを手放さないように。

【学校教育係 人事】

4月から2ヶ月ほど経ち、教職員のみなさんも子供たちも徐々に学校生活に慣れてきていると思います。近年1人1台端末やスマートフォンの活用が進む中で、SNS等を活用してつながりをつくる場面も多いと思います。「相談を受けていただけ」と児童生徒や保護者と私的なやりとりを行ったり、「読んでくれる人が楽しんでくれたら」と不適切な内容や個人情報を投稿したりするなどの軽率な行動が取り返しのつかないことに結びつくことにもなりかねません。SNSの利用について子供たちに使い方を指導するとともに教職員のみなさんも自分の使い方を振り返ってみてください。



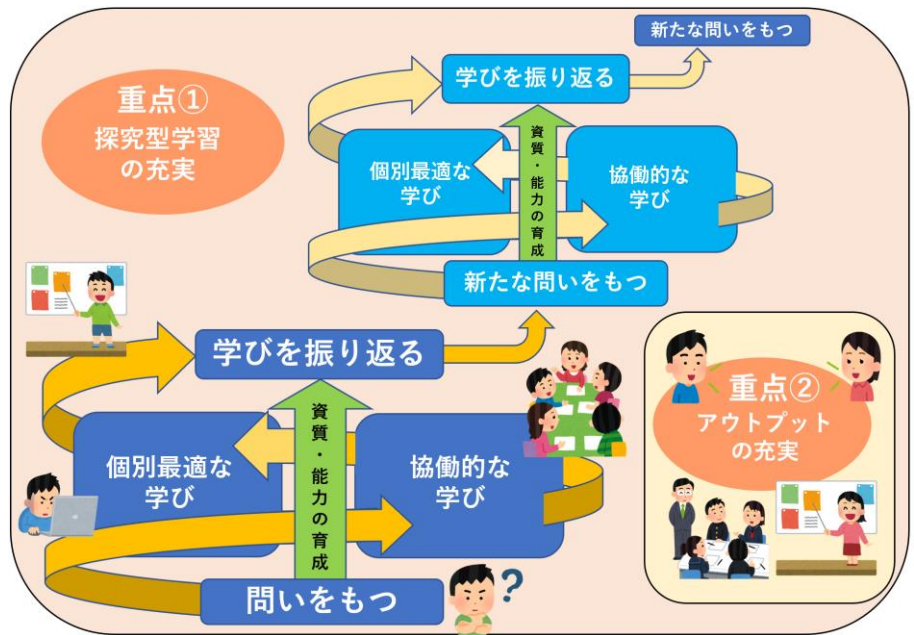
【総務係】学校教職員の皆様へ

- ① 通勤途中や勤務時間中に、医療機関を受診しなければならない怪我をした場合は、直ちに校長、副校長、教頭等に報告してください。「公務災害」の対象となる場合があります。校内での転倒事故、体育や部活動指導中の事故などが多発しているので、準備運動など適切に行ってください。
- ② 各種手当の認定要件等に変更があった場合は、必ず事務職員に申し出てください。

【例】転居、家賃の変更、扶養親族の増加（父母の収入減、子の出生等による）、扶養親族の所得増（108,333円超/月）

【学校教育係 指導】 「探究型学習」×「アウトプット」で深い学びへ！！

長く続いたコロナ禍もようやく落ち着き始めてきた昨今。学校訪問で何うと、子供たちが目を輝かせながら真剣に自分の考えを伝える姿や友達と互いの考えを共有し、折り合いを付ける様子を目にします。学校が本来あるべき姿を取り戻しつつあることに安堵しているところですが、それにしても、コロナ禍により、子供同士の交流や体験活動が制限された時間はあまりにも長すぎました。それを補うべく導入されたICT端末も、いつしか使用することが目的化してしまっている状況が見受けられます。その時代時代によって「学び」の様子は変わって



ても「主体的・対話的で深い学び」の本質に変わりはありません。中部教育事務所では、授業の在り方について、先生方と改めて考える、そんな一年にしたいと考えています。

そこで、今年の中部教育事務所の重点として、「探究型学習」と「アウトプット」の2点を掲げます。子供が問いをもち、それぞれの子供にあった学習方法で学んだり、興味関心に沿って学習をしたり（個別最適な学び）するとともに、友達と関わり合い（協働的な学び）、アウトプットすることで学びが深まるような授業を先生方と一緒ににつくっていきたいと考えています。そして、子供たちが自らの学びを振り返り、新たな問いにつながる探究的学習を推進してまいります。

今年度も、先生方の日頃の授業づくりに関わる悩みや不安と一緒に考えさせていただきます。また、校内研修等、要請をいただきましたら、授業アイデアや実践的な内容等をお伝えいたしますので、ぜひ御用命ください。よろしくお願ひします。

【生涯学習係】

生涯学習係では本年度、各種研修会や講座、会議の開催等を通して、管内市町村の人づくり・つながりづくり・地域づくりの推進に向けた取組を進めていきます。皆様との「つながり」を大切に、各種事業に取り組んでまいります。

本年度も、生涯学習係では独自事業「学びあいサポート」を実施いたします。この事業は、社会教育主事や青少年育成コーディネーター等を派遣したり、生涯学習・社会教育に関する講師紹介等の相談に応じたりします。

<活用例>

○保護者の集まる機会に「ワクワク子育てトークング」

就学時健康診断やPTA行事等の、保護者が集まる機会に、子育てについて語り合う学習会を行います。学習会の進行役（ファシリテーター）を派遣し、教材の準備もこちらでします。「保護者の関係づくりに最適」と大変好評です。

○学校運営協議会の進め方の相談

コミュニティ・スクールを始める学校の学校運営協議会の皆様に、目的や具体的な取組を説明します。地域の実情に合った取組等、一緒に考えます。

これ以外にも、少人数の講座や研修会、校内研修にも対応可能ですので、ぜひ御活用ください。費用はかかりません。電話、メールでお気軽に御相談ください。TEL:027-232-6512（直通）

E-mail: chuukyoku@pref.gunma.lg.jp（二次元コードもご利用ください）

中部教育事務所「社会教育主事等派遣事業」

学びあいサポート

研修会や講座などに、社会教育主事や青少年育成コーディネーター等を派遣します。また、情報提供や講師紹介、コーディネート等のご相談に応じます。

内容	
家庭教育 ◇発達段階に応じた子どものかかり方 ◇親と子のコミュニケーションのとり方 ◇子育てについて語り合い、学び合う学習会（ワクワク子育てトークング） 就学時健康診断におすすめ！	地域と学校の連携・協働 ◇地域学校協働活動について ◇コミュニティスクールについて 会議などのお手伝いもします！
青少年教育 ◇メディアの危険性について ◇体験活動の必要性について ◇人間関係スキルについて	人権教育 ◇人権講座 ◇人権意識を高めるための参加体験型学習（ワークショップ） 公民館の人権講座や学校の研修でも使われています！
その他 ◇社会教育・生涯学習に携わる方々のスキルアップ研修 など	
対象	
群馬県、伊勢崎市、渋川市、榛東村、吉岡町、玉村町の社会教育団体(行政、公民館、ボランティア団体、各種サークル等)、小中学校・専攻校A、企業 等	
申込み・相談	
電話またはメールでご連絡ください。（派遣及び相談について費用はかかりません。）	
問い合わせ先	
群馬県教育委員会事務局 中部教育事務所 生涯学習係 〒371-0051 前橋市上郷井町2142-1 TEL 027-232-6512(直通) FAX 027-232-4586 e-mail: chuukyoku@pref.gunma.lg.jp	

